



この記事に関する
詳細はこちらから

旬なスポーツ情報お届けします!

こまスポガイド



バーチャル小牧シティマラソン大会

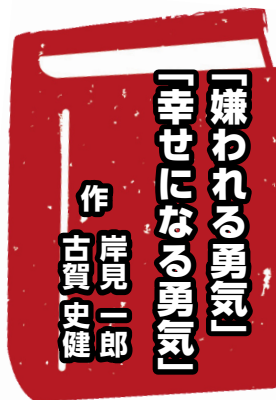
1月14日〜24日まで、バーチャル小牧シティマラソン大会を開催しました。バーチャル小牧シティマラソン大会とは、オンラインで走行距離を計測するアプリ『TATA』を使用し、開催期間中に「好きな時に、好きな場所で、好きな距離」を走る大会です。新型コロナウイルス感染症に伴う新しい生活様式に配慮した、新しいマラソン大会になります。今回が初めての取り組みでしたが、220名の参加者様にご参加いただきました。ありがとうございました!

参加者の皆様には事前にエントリーいただき、開催期間中に『TATA』を使用して10kmの完走を目指していただきました。開催期間中の計測回数に制限はなく(1回1km以上、開催期間内に10km走れば完走となります。参加者の皆様には参加賞としてマウスカバーをプレゼント!完走者には、大会期間中に走った記録で、昨年度の小牧シティマラソン大会10kmコースを走った場合の地図上でのシミュレーション動画を完走賞としてプレゼントしました!

今回は残念ながら例年通りの開催とはなりませんでしたが、たくさんの方にご参加いただきました。今後も感染予防対策をとりながら、スポーツを楽しみましょう!



ブックレビューボタン vol.57 ~私のおすすめの本を紹介~



「嫌われる勇気」から「幸せになる勇気」へ

日常の悩みは大凡人間関係ですね。数年前の私は必要のない人間関係構築ばかりで疲れていました。そんな時「嫌われる勇気」に出会い「人の為に生きる人生ではない」ということを自分なりに知りました。気づけば必要のない人間関係が自分の周りから姿を消しました。

「嫌われる勇気」の続編である「幸せになる勇気」は、より具体的な内容となっております。二冊とも対談形式になっています。毒ついたセリフを青年が哲人に浴びせ、半ば「怒り」をぶつけます。

今回ご紹介したい内容は、子どもの問題行動に関してで、どの子において無意味なことをせず、笑う、泣く、怒る事は「承認欲求」なんだという事。人間は生まれて死ぬまで、必ず他者との関係性の中で生きていきます。大人にとつたら「問

題行動」と、捉えられてしまいますが、子ども側からしたらどうでしょう。大人側の承認能力に問題がある場合もあります。

人の数だけ「個性」があります。自分自身を知らないのに、他人を理解することなんて難しいです。でも、自分を知って他者を理解できる本ですので、人間関係に悩む前一読ください。



今回のレビュー



▲ 後藤 枝美果さん

「株式会社 キラッと」の代表取締役。小牧市と東郷町で、少人数制でアットホームな保育所を3施設運営しています。

